

春のうた②

場面の様子やかえるの気持ちを感じながら詩を
視写(書き写す)しよう。

一、音読しよう。

視写したものは教室に
けいじ(はる)します。

二、視写しよう(この紙のうらに)

見本です。

春のうた 草野 心平

かえるは冬のあいだは土の中にいて
春になると地上にでてきます。
そのはじめての日のうた。

ほっ(まぶしいな。
ほっ(うれしいな。)

みずは(つるつる。
かぜは(そよそよ。)

ケルルン(クック。
ああいにおいだ。
ケルルン(クック。)

ほっ(いぬのふぐりがさいている。
ほっ(おおきなくもがうごいてくる)

ケルルン(クック。
ケルルン(クック。)

名前 わすれずに！

手順

① 題名と作者名を
なぞる。

② 教科書をよく見ながら
書いていく。

ポイント

① 全体が五つのまとまりに
分かれています。行の間は
あけましよう

② 一行の中で、間があいて
いるところは、ありません。

③ 行の先頭の文字を
そろえよう。

④ 自分の名前を書く

⑤ あいている所に、絵を
かく(色えんぴつ)

三、視写した詩を見ながら工夫して音読しよう。

四、視写して気づいたり、考えたりしたことを書こう。

組 番 名前